



2018年3月期第1四半期 決算説明資料

小野建株式会社

CONTENTS

1. 2018年3月期 1Q連結決算の総括、セグメント別業績・販売数量推移
2. 連結損益計算書、連結貸借対照表
3. 品種別販売状況
4. 設備投資について、株主還元
5. 2018年3月期の動向、中長期に向けての課題と取り組み

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

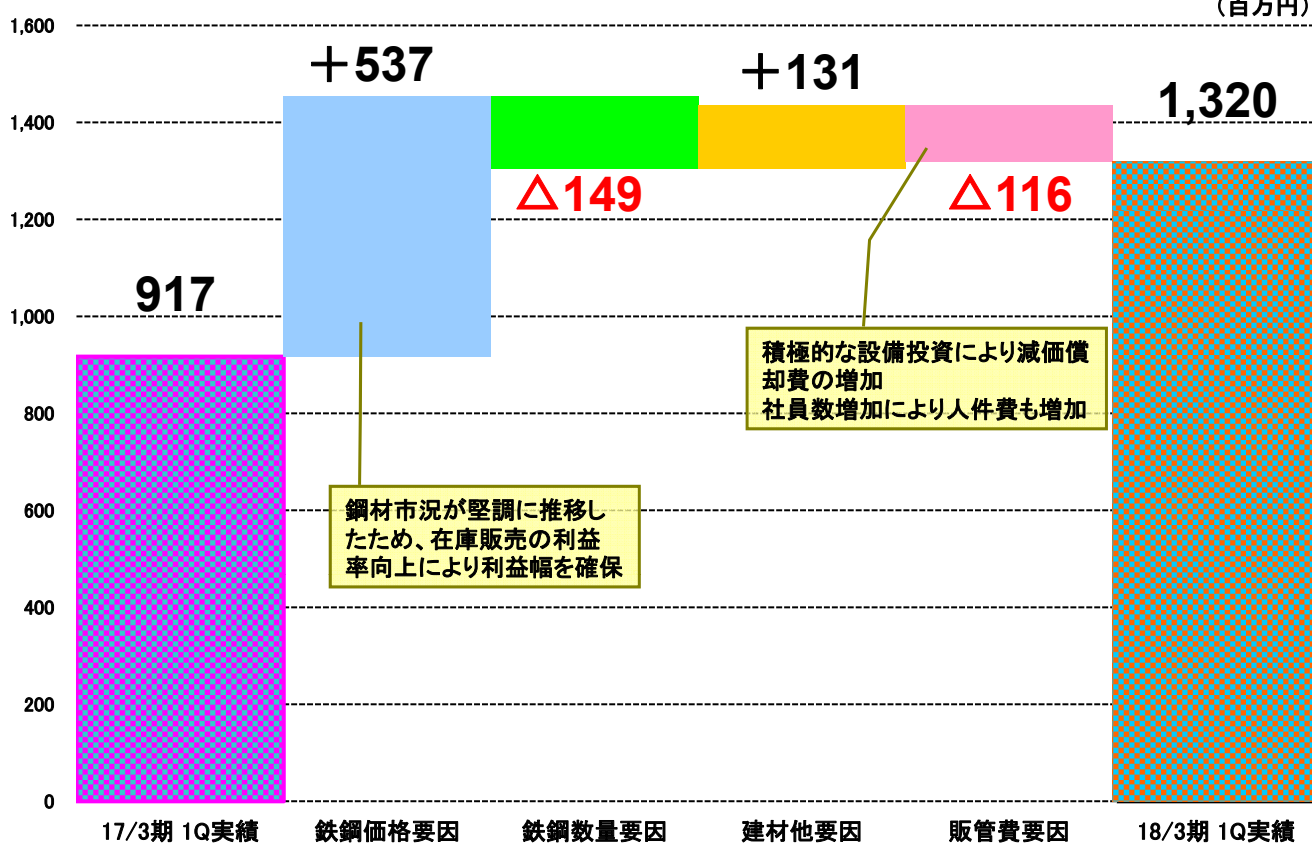
2018年3月期1Q総括 前期および計画との差異(連結)

(百万円)

	17/3期 1Q実績	18/3期 1Q計画	18/3期 1Q実績	計画比		前年比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	38,006	42,645	43,547	+ 902	+ 2.1 %	+ 5,541	+ 14.6 %
売上総利益	3,674	4,065	4,193	+ 128	+ 3.1 %	+ 519	+ 14.1 %
営業利益	917	1,214	1,320	+ 106	+ 8.7 %	+ 403	+ 43.9 %
経常利益	986	1,274	1,391	+ 117	+ 9.2 %	+ 405	+ 41.1 %
親会社株主帰属 四半期純利益	659	942	990	+ 48	+ 5.1 %	+ 331	+ 50.3 %

2018年3月期1Q総括 営業利益/前年同期比変化要因(連結)

(百万円)



セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

		16/3期 1Q実績	17/3期 1Q実績	18/3期 1Q実績
九州・中国 エリア	売上	22,047	20,345	23,973
	利益	507	634	717
関西・中京 エリア	売上	12,236	9,974	10,910
	利益	△ 19	114	305
関東・東北 エリア	売上	10,432	7,686	8,663
	利益	203	162	325

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

損益計算書(連結)

(百万円)

	17/3期 1Q 実績	18/3期 1Q 計画	18/3期 1Q 実績	前年比増減率	17/3期 通期実績	18/3期 通期計画	前年比増減率
売上高	38,006	42,645	43,547	+ 14.6 %	176,360	193,680	+ 9.7 %
売上原価	34,332	38,580	39,353	+ 14.6 %	159,256	176,381	+ 10.8 %
売上総利益	3,674	4,065	4,193	+ 14.1 %	17,104	17,299	+ 1.1 %
販売費及び一般管理費	2,756	2,851	2,873	+ 4.2 %	11,711	11,576	△ 1.2 %
営業利益	917	1,214	1,320	+ 43.9 %	5,392	5,723	+ 5.9 %
営業外収益	94	73	91	△ 3.2 %	322	238	△ 26.1 %
営業外費用	25	13	20	△ 20 %	83	55	△ 33.8 %
経常利益	986	1,274	1,391	+ 41.1 %	5,630	5,906	+ 4.7 %
特別利益	119	82	79	△ 33.6 %	201	112	△ 44.3 %
特別損失	141	5	7	△ 95.0 %	341	5	△ 98.5 %
税引前当期純利益	964	1,351	1,464	+ 51.9 %	5,490	6,013	+ 9.5 %
法人税・住民税及び事業税	304	409	473	+ 55.6 %	1,671	1,835	+ 9.8 %
親会社株主当期純利益	659	942	990	+ 50.3 %	3,818	4,178	+ 9.2 %

貸借対照表(連結)

(百万円)

※主要項目のみ記載しております

	17/3期 実績	18/3期 1Q実績	増減	増減率
流動資産	80,287	83,608	+ 3,321	+ 4.1 %
現金及び預金	2,158	2,283	+ 125	+ 5.8 %
受取手形及び売掛金	55,585	53,070	△ 2,515	△ 4.5 %
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	14,671	17,794	+ 3,123	+ 21.3 %
前渡金	6,942	9,577	+ 2,635	+ 38.0 %
固定資産	50,237	50,041	△ 196	△ 0.4 %
有形固定資産	48,460	48,138	△ 322	△ 0.7 %
資産合計	130,525	133,649	+ 3,124	+ 2.4 %
流動負債	63,067	65,901	+ 2,834	+ 4.5 %
支払手形及び買掛金	33,183	33,080	△ 103	△ 0.3 %
短期借入金	22,400	24,780	+ 2,380	+ 10.6 %
一年以内返済予定長期借入	294	294	± 0	—
前受金	3,168	4,753	+ 1,585	+ 50.0 %
固定負債	7,644	7,611	△ 33	△ 0.4 %
社債	5,009	5,007	△ 2	△ 0 %
長期借入金	876	802	△ 74	△ 8.4 %
負債合計	70,712	73,512	+ 2,800	+ 4.0 %
株主資本	59,444	59,709	+ 265	+ 0.4 %
純資産合計	59,813	60,136	+ 323	+ 0.5 %
負債・純資産合計	130,525	133,649	+ 3,124	+ 2.4 %



6

品種別販売状況(小野建単体)

(百万円・千トン・% ※単価は円/Kg)

		17/3期 1Q実績		18/3期 1Q計画		18/3期 1Q実績		前年比 増減率	18/3期 通期計画		前年比 増減率
鉄鋼商品販売事業	鋼板類	10,583		11,083		11,216		+ 6.0 %	45,485		+ 6.2
	販売数量・単価※	174	60.82	166	66.77	155	72.36	△ 10.9 %	679	66.99	△ 0.1
	売上総利益	935		1,173		1,094		+ 17.0 %	4,545		+ 1.9
	利益率	8.8		10.6		9.8		+ 1.0 P	10.0		△ 0.4 P
	条鋼類	13,732		14,862		15,250		+ 11.1 %	61,147		+ 5.2
	販売数量・単価	161	85.29	171	86.91	169	90.24	+ 5.0 %	706	86.61	+ 3.2
	売上総利益	1,342		1,738		1,749		+ 30.3 %	6,885		+ 3.9
	利益率	9.8		11.7		11.5		+ 1.7 P	11.3		△ 0.1 P
	丸鋼類	4,741		5,072		5,101		+ 7.6 %	21,651		+ 11.4
	販売数量・単価	89	53.27	89	56.99	86	59.31	△ 3.4 %	384	56.38	+ 7.9
	売上総利益	285		280		260		△ 8.8 %	1,177		+ 9.9
	利益率	6.0		5.5		5.1		△ 0.9 P	5.4		△ 0.1 P
小計	売上高	29,056		31,017		31,567		+ 8.6 %	128,283		+ 6.6
	販売数量・単価	424	68.53	426	72.80	410	76.99	△ 3.3 %	1,769	72.52	+ 2.8
	売上総利益	2,562		3,191		3,103		+ 21.1 %	12,607		+ 3.7
	利益率	8.8		10.3		9.8		+ 1.0 P	9.8		△ 0.3 P

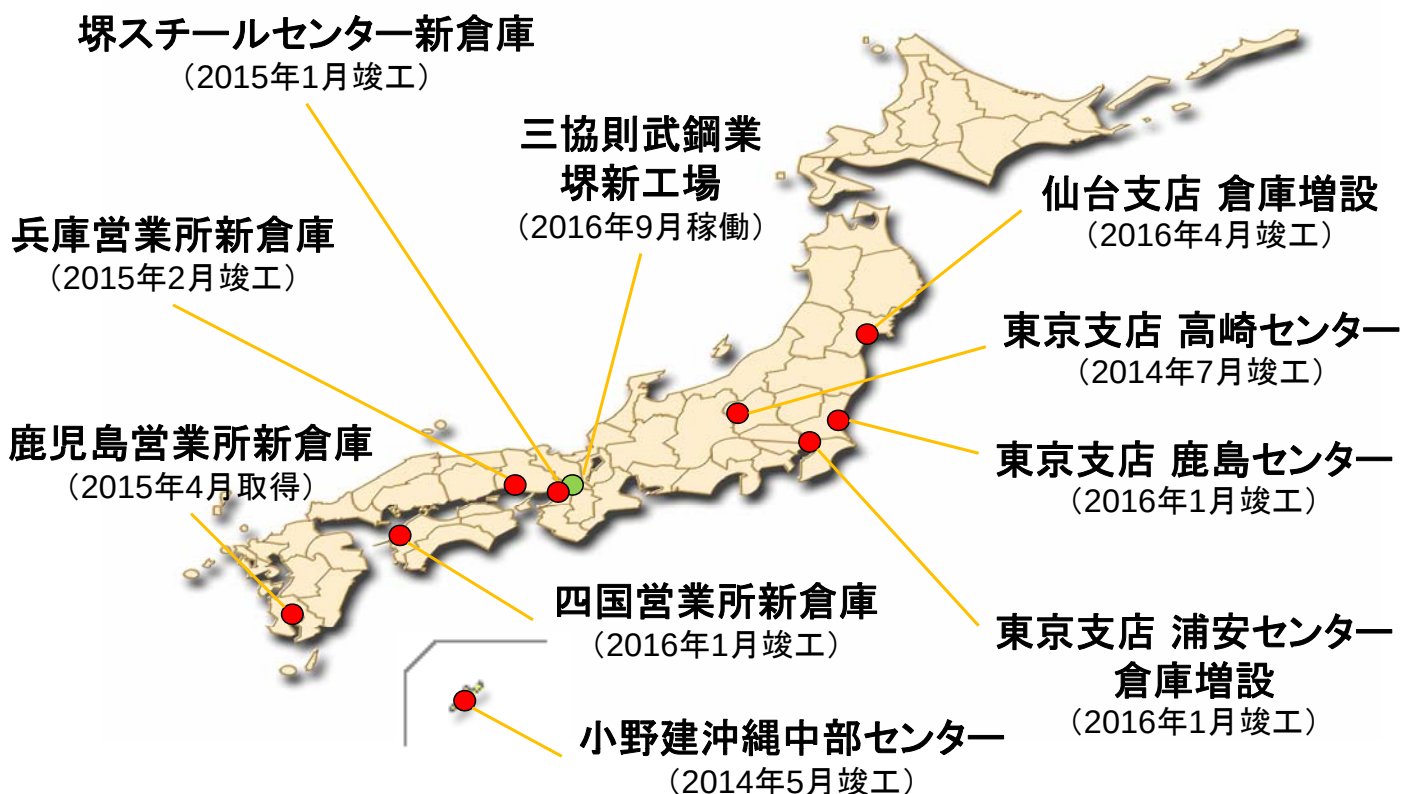


7

品種別販売状況(小野建単体)

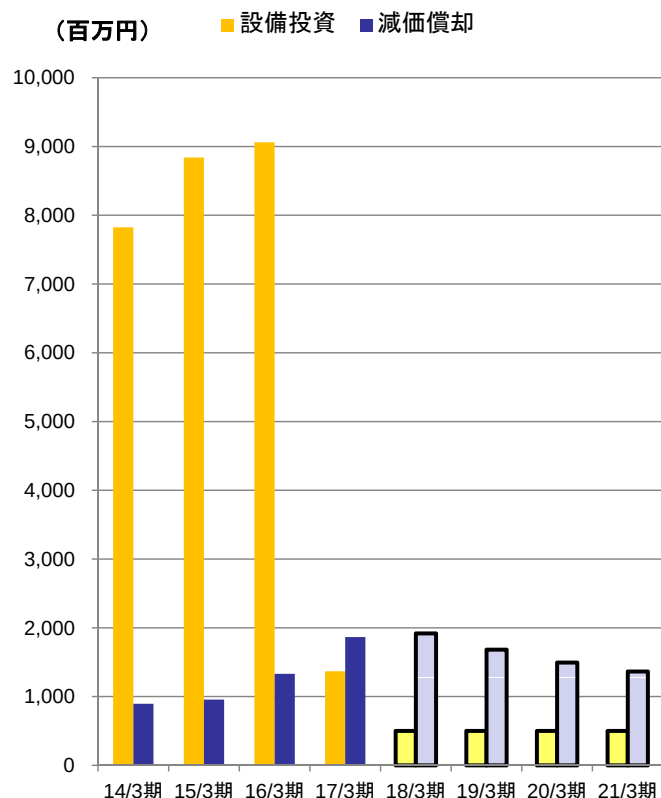
		17/3期 1Q実績	18/3期 1Q計画	18/3期 1Q実績	前年比増減率	(百万円・%)	
						18/3期 通期計画	前年比増減率
建材商品販売事業	建設機材商品	2,413	2,665	3,030	+ 25.6 %	14,196	+ 11.0
	売上総利益	129	134	123	△ 4.7 %	700	+ 14.4
	利益率	5.3	5.0	4.1	△ 1.2 P	4.9	+ 0.1 P
工事請負事業	建設機材工事	3,745	6,015	6,151	+ 64.2 %	33,534	+ 12.4
	売上総利益	265	362	402	+ 51.7 %	2,080	+ 9.2
	利益率	7.1	6.0	6.5	△ 0.6 P	6.2	△ 0.2 P
賃貸等事業 不動産	その他事業収入	179	171	172	△ 3.9 %	670	△ 3.2
	売上総利益	85	90	90	+ 5.9 %	347	+ 4.2
合計	売上高	35,393	39,868	40,920	+ 15.6 %	176,683	+ 7.9
	売上総利益	3,041	3,777	3,718	+ 22.3 %	15,734	+ 4.9

直近開設済み物流センター



通期設備投資計画(連結)

16/3期実績



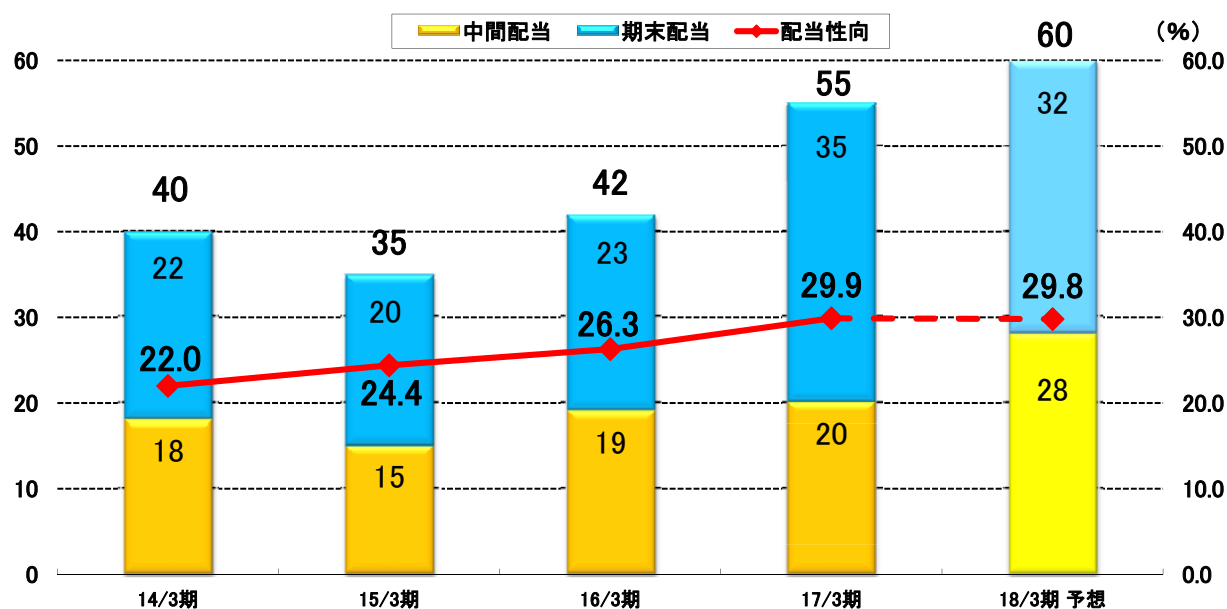
- ・鹿島センターの建設費の一部
- ・四国営業所新倉庫の建設費
- ・三協則武鋼業堺新工場の建設費の一部
- ・仙台支店倉庫増設の建設費の一部

17/3期実績

- ・三協則武鋼業堺新工場の建設費の一部
- ・仙台支店倉庫増設の建設費の一部

株主還元

- ・ 内部留保充実による企業体質強化
- ・ 業績連動ながら連結配当性向30%を基本に安定かつ高い水準の利益還元を継続



・ 鉄鋼市況の動向

- － メーカーの値上げ圧力は継続しているものの、スクラップなどの原材料価格が不安定な中、鉄鋼市況はこう着状況が続く
- － 夏場からの需要拡大により、市況再上昇の可能性も
- － 中国など海外情勢により、輸入鋼材市況が大きな影響を及ぼす恐れ

・ 需要の動向

- － 地域差はあるものの、需要環境は概ね好調に推移しており、今後の夏場以降も増加見込み

主な需要用途

公共工事・・・災害復旧(土木、建築共)、橋梁補修補強、インフラ整備

民間工事・・・物流センター、大型ショッピングモール、ホテル、病院

その他・・・プラントの整備、産建機の需要拡大

中長期に向けての課題と取り組み

基本戦略: 販売エリアの拡大とシェア向上

・ 流通商社としての役割の再確認と販売数量増加策の推進

- － 物流コストの上昇に備えて
 - ・ 岸壁付きのヤードを利用し、国内外からの仕入れコスト削減
 - ・ ヤードの点在化により、需要地までの近距離化
- － 需要化ニーズの多様化に対応
 - ・ ヤード内に加工設備を充実
 - ・ 小口需要に対応する在庫・配送体制の強化
 - ・ 需要家同士のネットワーク化
- － 工事請負業務の拡大
 - ・ 工種の拡大により、請負業務を拡大
 - ・ 資格管理者の充実、技術者の育成が課題

・ 社内体制の充実

- － エリア内連携の強化により、在庫商品の効率化と拡充
- － 人材育成の強化と適材適所

参考資料 1

設備投資について

ONOKEN

設備投資について(16/3期竣工済み)

- 四国営業所倉庫新設(2016年1月竣工)
 - 設備投資額 約15億円
 - 土地面積 19,234 m²
 - 建屋面積 約10,000 m²
 - 大阪支店と連携して、四国エリア全体のサービス向上
 - 条鋼の一次加工ラインを併設し、加工品の取り扱いを強化
- 東京支店鹿島センター新設(2016年1月竣工)
 - 設備投資額 約16億円
 - 土地面積 20,000 m²
 - 建屋面積 12,000 m²
 - 北関東一帯のユーザーを既存の高崎センター、浦安センターと連携してさらなるサービス向上を図る

設備投資について(16/3期竣工済み)

- 東京支店浦安センター増設(2016年1月竣工)
 - 設備投資額 約26億円
 - 土地面積 15,000 m²
 - 建屋面積 7,000 m²
 - 自社専用岸壁を持つことにより物流コストの低減を図る

設備投資について(17/3期竣工済み)

- 仙台支店倉庫増設(2016年4月竣工)
 - 設備投資額 約6億円
 - 土地面積 4,165 m²
 - 建屋面積 約2,500 m²
 - 既存の倉庫の隣接地に増設し、さらなる商品アイテムの増加によるサービス向上を目指す

設備投資について(17/3期竣工予定)

- 三協則武鋼業堺新工場(2016年9月稼働)
 - 設備投資額 約45億円
 - 土地面積 26,529 m²
 - 建屋面積 13,872 m²
 - 従来の加工能力(数量・サイズ共)が大幅に向上することから、既存顧客以外へも幅広い対応が可能となり、業績の倍増を目指す
(従来はレベラー1機で月間約8,000t ⇒ 2機で月間約15,000tの能力となる)
堺スチールセンターに併設することにより、自社岸壁を利用した仕入れコストの低減と小野建との連携による販売強化を図る

参考資料 2 基礎資料

ONOKEN

会社概要

商号	小野建株式会社
設立	1949年8月
代表者	小野 建
上場取引所	東京①・福岡(7414)
本社	福岡県北九州市
本支店	大分・小倉・福岡・熊本・長崎・広島・大阪・東京・仙台
営業所	鹿児島・宮崎・山口・八戸・名古屋・京滋・北陸・兵庫・ 四国・福山・神戸・久留米・新居浜・丸亀・岡山・南大阪
連結子会社	西日本スチールセンター(株)、三協則武鋼業(株) 小野建沖縄(株)



福岡支店

【特長】3000社の販売先を持ち全国展開する、独立系の鉄鋼・建材流通商社。
 自社物流センターを各地に保有し、輸入材も含めた幅広い商品展開に強み。鉄鋼流通業界ではNo1の業績。鉄骨工事等の工事請負や、建材商品の販売にも注力。

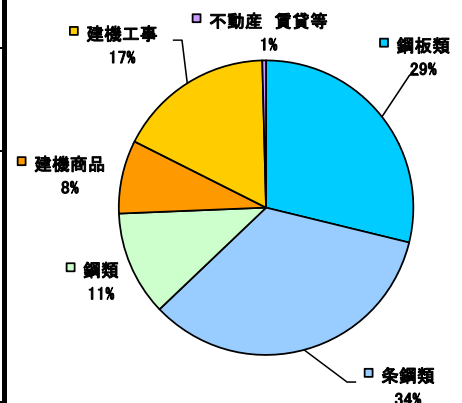


20

取扱い品種

		主要商品	主要販売先	主要メーカー
鉄鋼商品	鋼板類	鋼板 (厚中板・熱延・冷延薄板)、 縞鋼板	鉄工業、造船業 建設業、 機械製造業	新日鐵住金、JFEスチール、東京製鐵、等、 国内メーカー
		コイル (熱延・冷延コイル)	コイルセンター	鞍山鋼鉄、POSCO、 中国鋼鉄、上海宝山鋼鉄、NZS等、海外メーカー
		線材(普通鉄線) 亜鉛メッキ鉄線	二次製品製造業 (金網・釘・他)	
建設機材	条鋼類	形鋼(H形鋼・山形鋼・他)、 軽量形鋼(軽量溝形鋼・他) パイプ(構造用鋼管・他) 半製品(ビレット・他)	鉄工業、建設業、 造船業、 機械製造業	新日鐵住金、JFEスチール、JFE条鋼、合同製鐵、大阪製鐵、東京製鐵、共英製鋼、他
	丸鋼類	鉄筋コンクリート用棒鋼 丸鋼	建設業、 二次製品製造業	JFE条鋼、大阪製鐵、 東京製鐵、共英製鋼、 トカイ、他
建設機材	建機商品工事	建築・土木資材 (建築金物・建具・セメント・コンクリート二次製品・ALC・スレート・ヒューム管・矢板・支保工材・フェンス・他)	建設業	三協立山アルミ、三晃金属工業、パナソニック電工、太平洋セメント、三菱マテリアル建材、日鐵住金建材、和新高工業、アオイ化学工業、朝日スチール工業、他
		各種工事(鉄骨・基礎・屋根・外壁・建具・他)		

- 鋼板・条鋼等の鉄鋼商品の扱い品種はおよそ5000種以上、国内外を問わない豊富な仕入ソースを持つ
- 屋根材や壁材等建材商品取扱いも強化し、工事請負も拡大中

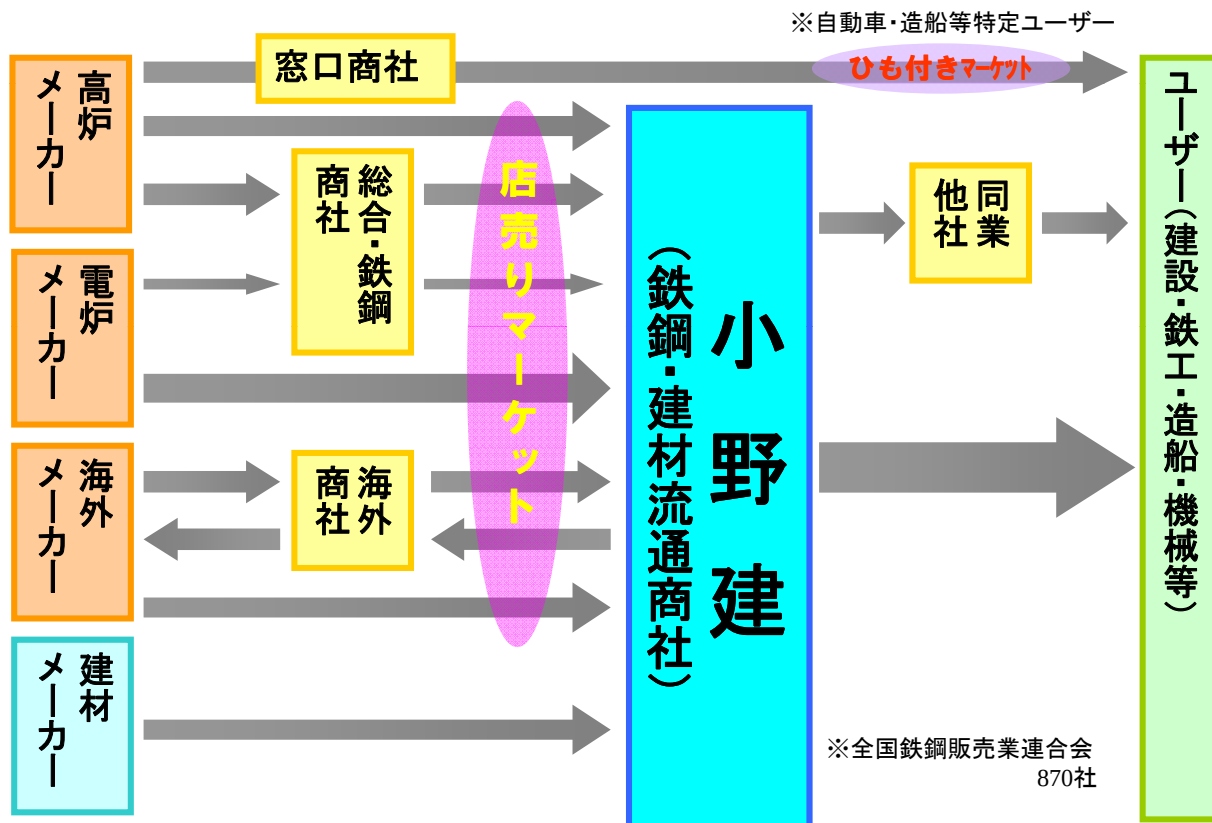


※17/3期 売上高の内訳

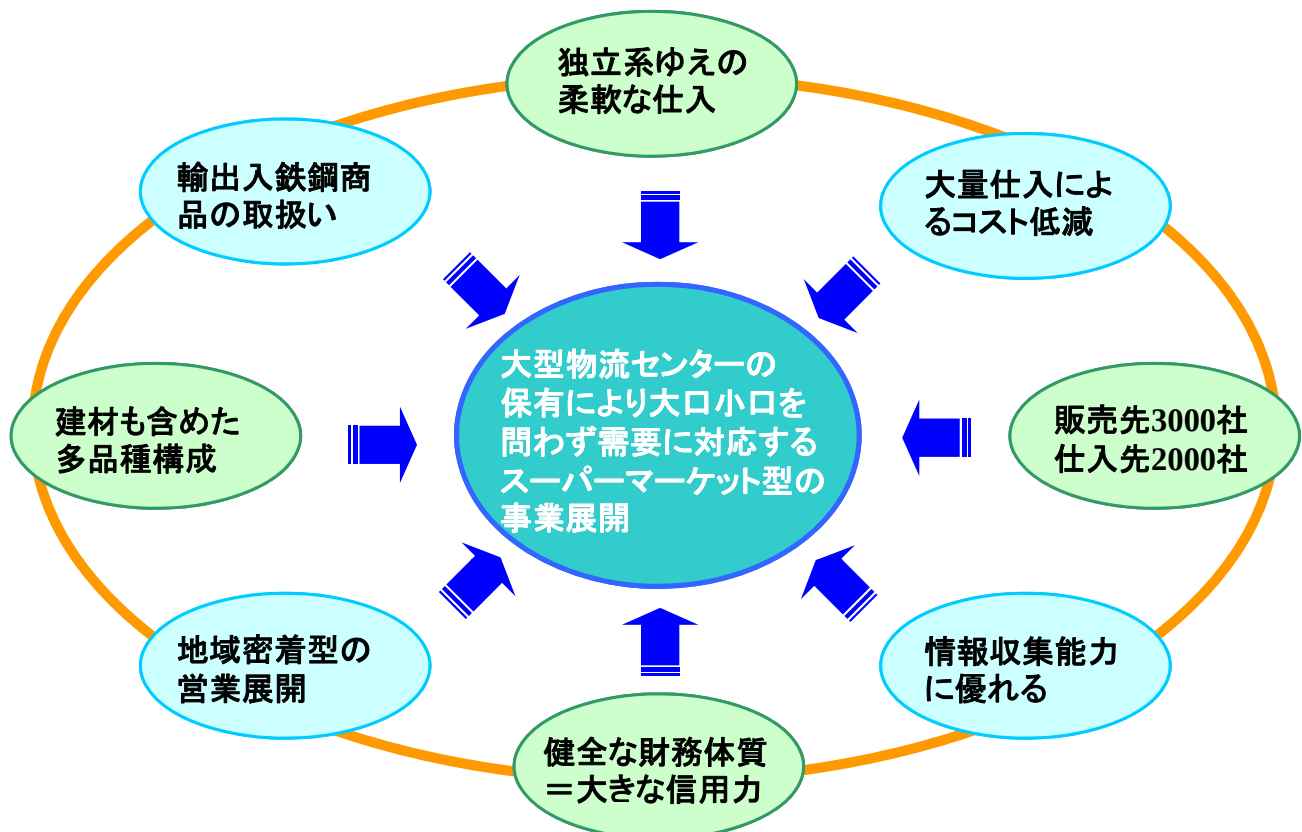


21

鉄鋼流通業界とは



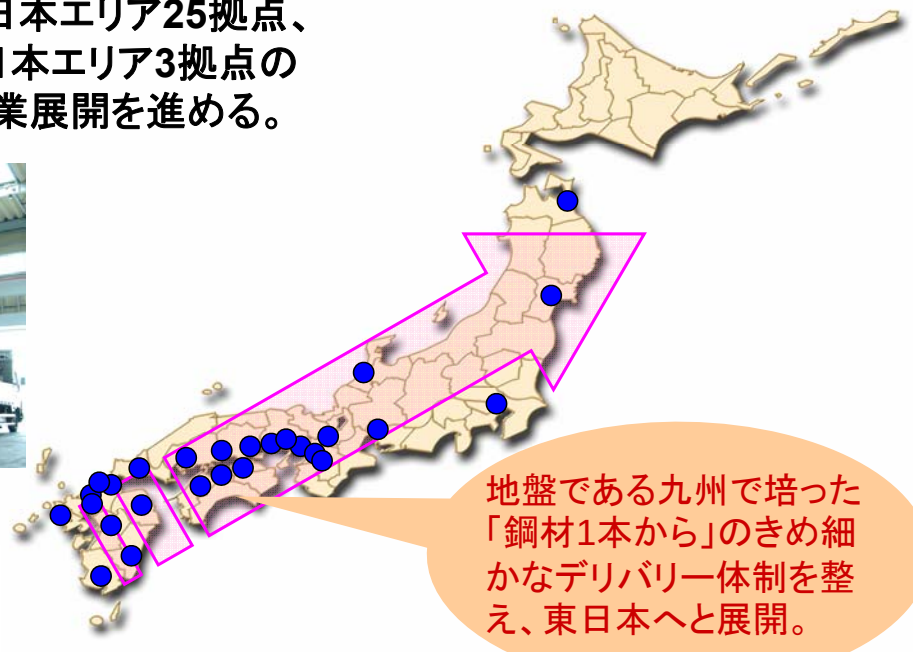
小野建の強み



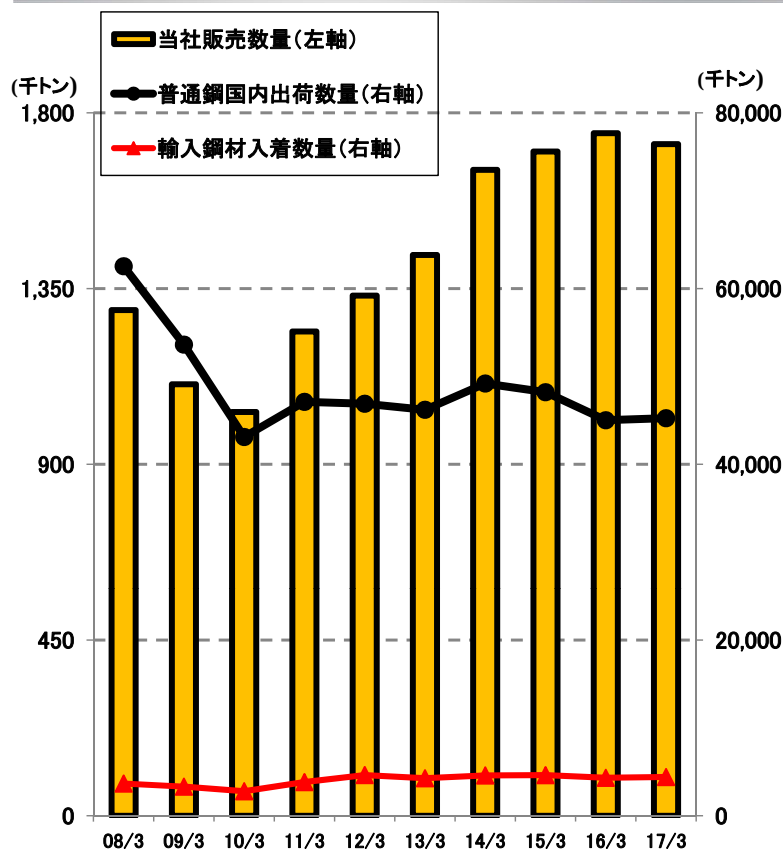
九州を中心に全国へネットワークを展開

・「多品種・迅速」の供給体制確保がカギ

- 大型物流センターを軸とする多品種大量の「スーパーマーケット戦略」に最重点を置き、グループ全体で西日本エリア25拠点、東京を軸にした東日本エリア3拠点の合計28拠点にて営業展開を進める。



国内の出荷数量との比較



【市場との比較】

- 普通鋼国内出荷数量は、近年若干の減少傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 今後もシェアを拡大し、販売数量を伸ばしていく（約2%）

市場は縮小していくことが予想されるが、

小野建の強みを活かして
生き残りへ

販売エリアの拡大とシェアの向上

・ 地域密着型の営業展開

- 各地それぞれのニーズに対応し、取扱い品種を変化させる
- 鉄鋼商品だけでなく工事を含む建材部門も含め多様な販売先を持つ
- 地域一番店の集合体＝全国№1の鉄鋼・建材流通商社

・ 物流センターを活用した多品種構成

- 店売マーケットが縮小しているなか、鋼材のダム機能としての役割を拡充
- ユーザー直結の川下戦略を徹底し、販売先数を拡大
- 鉄鋼流通業界において、豊富な在庫を持って商売を行うことは大きな強み

・ 国内外を問わない柔軟な仕入ソース

- 独立系であり販売力があることが国内メーカーとの関係強化に結実
- 30年来培った輸入鋼材活用のノウハウは大きな特長

エリア戦略を推進し市場における存在感の向上を目指す

・ 関東・東北エリアの戦略

- 関東、仙台、八戸の縦貫ライン並びに、
2014年7月稼働の高崎センター、2016年1月稼働の
鹿島センターによる川崎・高崎・鹿島・浦安の関東環状ライン
で関東以北を営業強化

・ 九州・中国エリアの戦略

- 沖縄中部に2つ目の倉庫となる中部センターが完成
- 鹿児島には岸壁付きの新倉庫を取得し、加工ラインも併設
することにより、福岡・小倉のマザーヤードと連携し
地盤強化・シェアの向上を目指す

・ 関西・中京エリアの戦略

- 大阪支店(国内・輸入鋼板)のヤードを拡大するとともに
加工設備も完備し、三協則武鋼業(コイルセンター)
との協力体制、2016年1月稼働の四国営業所新倉庫
での営業力強化により新規販売先数増加と、
既存顧客での販売品種拡大を狙う

